



平成31年1月
第168号

かけはし

ケアハウスあじさい園

URL: <http://www.ajisaien.or.jp/>

あけましておめでとうございませう

新しい年をお迎えするにあたり、初心にかえり私達のもつ介護力・福祉力を活用し、お一人おひとりを敬い、共に支え合う地域作りを推進して参ります。福祉の要となれますようご指導ご支援をよろしくお願いいたします。お気づきの事はお気軽に話し下さり晝宝会をお育て下されば幸いです。

さて「一期一会」について。小林秀雄「美を求める心」の一節をご紹介します。

「たとえば諸君が野原を歩いていて、一輪の美しい花の咲いているのを見たとする。みるとそれはすみれの花だとわかる。なんだすみれの花かと思った瞬間に、諸君はもう花の形も色もみろのを止めるでしょう。諸君は心の中でおしゃべりをしたのです。すみれの花という言葉が諸君の心のうちに入ってくれば、諸君はもう眼をとじります。それほど黙ってものを見ることがはむずかしいことです。すみれの存在と解かるということは、花の姿や色の美しい感じを言葉でおきかえてしまうことです。言葉のじゃまの入らぬ花の美しい感じをそのままちつづけ、花をだまて見つけていければ、花は諸君にかつて見たこともなかったような美しさを、それこそ限りなく明かすでしょう。」

私達がその時その時に出会う花は、本当は一期一会であります。貴重であるはずのその花との出会いも一瞬で十把ひとからげ、「すみれ」という抽象概念におきかわって認識され処理されてしまいます。その過程で花の姿や色の美しい感じをうけとめる感性は働かなくなりません。言葉にあやつられることなく、素直にその花の美しい感じを持ちつづけ、そこには何があっても何がおきているのかを虚心坦懐に「見る」ということ、それが本来の一期一会の持つ意味である、とおそわりました。

ここでいう花は人にもおきかえられます。人と人との出会いも、人と自然との出会いも敬う気持ちを大切にしたいと思えます。

ひとつひとつの縁に感謝し、専門家として機転のある対応、謙虚に学び、笑顔でコミュニケーション、心身共に快適な環境維持のため清潔をと、5つの基本理念を胸に、今年も職員一同つとめて参ります。



1月行事予定	
1(火)	新年祝賀会 初詣
13(日)	いどばた会 (初釜)
24(木)	食事会 (新年会)



新年祝賀会と初詣

一月一日(火)

午前十時三十分より、新年祝賀会が挙行されました。

皆様、健康でお過ごしになられますようとお祝いの言葉を賜り、恒例の獅子舞で盛り上がりました。

その後、祝い膳を召し上がって頂き、初詣に出かけていただきました。

皆様がお元気で、笑顔でお過ごしくださいますようお願い致します。



お誕生日おめでとうございます

A様 大正 9.1.14生(99歳)
B様 昭和 4.1.6生(90歳)